教職に関する科目　：　必須・選択必須科目一覧（2011年度）

必要単位数	必須or選択必須	科目名称	開講期	曜時限	評価方法
2	必須	教職教育論	前期	金2	平常点（授業内での小レポート）＋定期テスト
			後期	水5	平常点評価（出席状況、意見・感想・発現、6割程度）＋期末レポート（4割）。出席6割未満は平常点評価をしない。
6	1科目選択必修	比較教育学	前期	金2	レポート＋出席点
		教育学概論Ⅰ	後期	金2	期末レポート＋平常点
		教育人間学概論Ⅰ	前期	火2	出席3割＋学期末レポート試験7割
	1科目選択必修	教育心理学Ⅰ	前期	金2	学期末試験、および平常授業での小レポート
		教育心理学Ⅱ	後期	火1	定期試験（持込不可、筆記）
		教育心理学Ⅲ	前期	金3	学期末試験、および平常授業での小レポート
	1科目選択必修	比較教育制度論	後期	木2	レポート＋出席点。出席表を一度も提出していない学生のレポートは受理不可。
		教育社会学概論Ⅰ	前期	月4	毎回、授業時に提出する小コメントと期末試験
		教育行政学概論Ⅰ	前期	月2	出席2割、試験8割程度
		教育行政学概論Ⅱ	後期	月2	出席2割、試験8割程度
		教育学概論Ⅱ			
6	1科目選択必修	教育課程論Ⅰ			
		教育課程論Ⅱ	後期	水2	講義中に課す小レポートと＋講義終了時に行う試験
	当該教科についてⅠ・Ⅱとも必修	数学科教育法Ⅰ	通年	月1	半期に3回以上欠席した場合やレポート未提出の場合は、原則として単位を認定しない。 評価：平常点（討論・模擬授業等への取組）2割程度＋レポート（年間10～15回程度実施）8割
		数学科教育法Ⅱ	通年	金1	授業への積極的参加と小レポート2割、模擬授業への取り組み（事前話し合い、当日の役割遂行、事後のまとめ）4割、前期末及び後期末での小論文各2割。上記の二つの論文提出と模擬授業への参加が単位取得の必要条件。
				金2	
		理科教育法Ⅰ	通年	金3	単位認定の前提条件：①出席率2/3以上②全レポート提出③模擬授業とそのレポート。 評定基準：出席状況＋レポートの評価＋模擬授業の成果＋特別活動
				金4	
		理科教育法Ⅱ	通年	月4	前提：出席2/3以上、積極的な参加（模擬授業・レポートの提出）。 評価：レポート評価4割＋模擬授業の成果4割＋探究課題2割
				水2	前提：出席2/3以上、積極的な参加（模擬授業・レポートの提出）。 評価：出席＋レポート＋模擬授業＋その他
	必須	特別活動の理論と実践	後期	金1	期末レポート課題＋授業中のミニレポート
	必須	教育方法論	後期	水4	平常点（出席：6割未満の場合は試験受験を認めない、小レポート・感想等含む）4割＋定期試験（筆記）6割
4	必須	生徒指導論	前期	火2	定期試験
	必須	生徒指導の精神と具体的方策	前期	金1	期末レポート課題＋授業中のミニレポート
	必須	教育相談	前期	火2	平常点、授業期間中に課すレポート及び期末レポート
			後期	月1	講義ごとに提出を課するコメント、及び講義終了時の課題レポート
	必須	教職総合演習			
	必須	教育実習Ⅱ			

京都大学理学部新2回生5組　GrassField作成　　間違い等があるかもしれません。あくまで参考程度に。何かありましたら報告して下さい。